

平成30年度（春季） 議会報告会報告書

- | | | |
|-----|--------|-----------|
| ○1班 | 内外海公民館 | (P 1~ P3) |
| | 国富公民館 | (P 4~ P6) |
| | 小浜公民館 | (P 7~ P9) |
| ○2班 | 雲浜公民館 | (P10~P13) |
| | 西津公民館 | (P14~P16) |
| | 宮川公民館 | (P17~P19) |
| ○3班 | 口名田公民館 | (P20~P21) |
| | 今富公民館 | (P22~P23) |
| | 中名田公民館 | (P24~P26) |
| ○4班 | 松永公民館 | (P27~P28) |
| | 加斗公民館 | (P29~P30) |
| | 遠敷公民館 | (P31~P32) |

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年5月11日 (金) 19:30~21:00		
会場 / 地区	内外海公民館/内外海地区		
出席議員	1班 / 清水正信・垣本正直・能登恵子・今井伸治・熊谷久恵		
参加者(市民)	24名		
報告事項	司会・班長：垣本、報告者（前回報告会の質問に対する回答）：清水、 （定例報告）：今井、（北陸新幹線の取り組みについて）：熊谷、 書記：能登		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	今回偶然参加したが、議会報告は誰でもが聞きに来るところにしてほしい。	【今後の対応】 当日の回答どおり
	回答	1人でも多くの市民の皆さまに参加していただきたいと、広報に掲載・チラシを作り配布、新聞にも掲載している。 しかし、来られる方は固定され、区長や団体役員になってきて女性や若者の参加が少なく議会側も四苦八苦している。	
	質問	前回来てないので、話が分からない。	当日の回答どおり
	回答	その為に、前回のご質問に対し、行政側の回答を報告させていただいた。すでに公民館を通して回答をさせていただいており、議会のHPにも掲載している。	
	質問	内外海地区の要望事項で、西津橋・大手橋の進捗状況を教えてください。	当日の回答どおり
	回答	現在、用地買収を行っていただいている。平成31年秋ぐらいから、西津橋・大手橋の下流に、人と自転車が通れる仮橋を造って、7年間通行止めになる予定。その間の5年間が工事期間で、西津橋・大手橋を同時に行う。そして、多田川の橋は、工事が終わってから撤去する。大手橋の一番町側の橋桁ができると、1m40cmほど高くなり勾配がきつくなる。一番町のNTT側を6m拡幅し、税務署側は拡幅しない予定。 現在、家庭裁判所側の堤防の道路幅を、工事車両が交差できるよう幅員を拡幅する。	
	質問	来年から通行止めになるということで、あっち(コウノトリ大橋)の橋しか通れなくなるのか。	当日の回答どおり
	回答	はい、今どちらも5,000台ぐらい通っているのが、1万台ぐらひは向こうへ行くと、朝夕の渋滞がきつくなると考えている。	

	質問	免許証返納のことだが、返納したいけれどこんなところに住んでいるので大変なことになる。タクシーの割引券が欲しい。	
	回答	返納時には1万円の支給があり、タクシーにもあいあいバスにも活用可能。 あいあいバスだが、年間だいたい1億円使っている。距離により100円、200円、300円と違うが、8万人が利用され一人当たり単純計算で1,200円ちよつとかかっている。そうして今の地域交通を支えているが、どうしたら利用しやすい効率的なダイヤを組むか、また地域によりデマンドタクシーを活用するとか、検討していかなければならないと思う。	行政に伝える (回答を求める)
	質問	昨年の台風の時、内外海はこの公民館と指定されているが、田烏には小学校体育館が避難場所指定されているのに、ここまで来ないといけないのはどうかと思う。職員が付かなあかんという話も聞いているが。	
	回答	田烏からここまでの距離を考えると、安全性も問題になると思う。区長要望を上げてもらうのと、今日お伺いしましたので生活安全課へ伝えさせていただき、取り組ませてもらう。	行政に伝える (回答を求める)
	質問	泊、堅海、仏谷、若狭の西部だが、7年前土砂崩れがあった。あそこの法面が非常に危なく、原発も目の前にして避難するときどうなのか心配して、要望も出ているのだが解決していただきたい。	
	回答	法面に対する対応については、市に伝え何らかの形でご返答させていただく。避難ルートについては、地域の皆さんにとっては非常に大きな課題だと思う。皆さんの納得のいく避難体制が確立するよう、要望させて頂くが、ただ全国的にこういう30 ⁺ 圏内の県内避難、広域避難に対しては、避難だけでなく除染・避難先の受け入れ等についてもなかなか足並みがそろっていないようで、そこらへんも十分確立するよう要望させていただきたい。	行政に伝える (回答を求める)
	質問	嶺北の大雪大変だったが、田烏でも区の役員で除雪をしている。しかし、その機械も27年ほど経過し老朽化している。何とか購入したいと思っており、何かいい補助金等々は無いのか。	
	回答	いろんな助成制度があるので、一度市民協働課へ相談してほしい。燃料代に関しては、まちづくり協議会を通して交付金なり補助を活用していただければと考える。	当日の回答どおり

	<p>質問</p> <p>回答</p>	<p>平成 30 年度の当初予算の 256 億、この数字をぱっとみせられても理解できない。例えば 5 年間でどんな経緯になっているのか、前年より、来年の予算が減るのか減ったのか…5 年間ぐらいのトレンドぐらいをグラフで見せていただければと希望する。</p> <p>それから、予算の中で小浜市として国体の負担金等はないのか。どのくらいか教えてほしい。</p> <p>それと、新幹線の話では、僕くらいの人たちは皆この世にいないような話なので、例えば 3 年後を見据えた小浜市の方向性とかそんな話をさせていただく会にすればみんな興味があると思うのだが。</p> <p>国体の費用内訳だが、今の 2 億 6,700 万円の内、県の支出金が 1 億 1,300 万円、市の一般財源が 1 億 5400 万円ほど。</p> <p>今回、5 年ぐらいの経過を出せなくて申し訳ないが、「おぼましの台所事情」という HP があり、10 年単位とかで詳しく表示されているので、見ていただければと思う。</p> <p>今、新幹線を見据えた小浜市のまちづくり構想計画を作っている。それは長期だが、快速鉄道の事業費として、嶺南各市町で約 31 億、小浜市が 12 億基金としてある。その使いみちについてどうするのかの議論が、嶺南広域行政組合や敦賀から高浜までの自治体首長が組織している中で検討をしている。</p> <p>また、県も独自で約 50 億の基金があり、その提案内容は主に敦賀開業を見据え、嶺南一帯の活性化のため 2 次交通の（高速バスや小浜線の安定化・高速化など）利便性をどうするのか、話し合われている。未だ、公表されていないが何とか具体的な事業に向けて取り組んでいきたい。</p>	<p>当日の回答どおり</p>
--	---------------------	---	-----------------

平成 30 年 6 月 4 日 小浜市議会議長 様

第 1 班 班長 垣本正直

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成 30 年 5 月 23 日 (水) 19 : 30 ~ 21 : 00		
会 場 / 地 区	国富公民館/国富地区		
出 席 議 員	1 班 / 熊谷久恵、今井伸治、能登恵子、垣本正直、清水正信 (計 5 名)		
参加者(市民)	28 名		
報 告 事 項	司会・班長：垣本、報告者（前回報告会の質問に対する回答）：清水 （定例会報告）：今井、（北陸新幹線の取り組みについて）：熊谷 書記：今井		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	新幹線は小浜駅に止まるのか。	【今後の対応】 当日の回答どおり
	回答	国交省の発表でも駅は東小浜付近となっている。 何本小浜駅に停車するのかについては、今は分からない。 駅が出来てのまちづくりを、国交省やJR、県、関係自治体と で進めていく中で、市民の皆様の応援やお力添えをお願いし たい。	
	質問	簡易水道から公共水道になる志積・矢代の場合、金額は下がる のか。	当日の回答どおり
	回答	今回の場合若干上がる。各簡易水道によって料金設定が違う ので、上がる場合もあるし下がる場合もあり、一概には言えな い。今は安くても水源の維持管理・品質の確保といったこと で、将来的には上水道に統合という事だが、費用対効果の面か ら経営の統合だけの場合もある。 小浜市の場合、今は地下水が豊富だが、河内川ダムの水源の権 利も確保して、新たな水道ビジョンを作成しているところだ る。	
	質問	昨年の台風時、小学校へ避難したがサッシから水が吹き込ん だり、停電したりして寒かった。毛布も無く後から市の職員が 運んでくれたが皆にいきわたらなかった。	行政に伝える (回答を求めない)
	回答	どこの地区も避難所は 2 ヶ所あるが、非常用の備品は公民館 の防災倉庫に置いてある。学校に避難される人のためにも、配 備するように手配する。	
意見	高塚の場合、お寺に避難している。毛布は準備しているけど不 足している。 指定場所以外に避難することに市の対応は。	行政に伝える (回答を求める)	
質問	太良庄は去年 4 回水がついて、最後は孤立した。今年度の予算 で何をやってくれるのか。		

回答	北川の水位を下げるという事で、県が河口から浚渫をしている。遠敷川から流れてきた土砂を、落差溝の下へ堆積させているが、逆流の恐れもあるので、河道流域の維持管理を引き続き強力に要望していく。	行政に伝える (回答を求める)
意見	昨年は4回も水がついて、太良庄区民は非常に困っている。農作物の被害もひどかったので、その辺も合わせてお願いしたい。	
回答	太良庄区の事業化されている道路の改良計画について、担当課に確認して報告する。	行政に伝える (回答を求める)
質問	ごみ焼却炉の話は進んでいるのか。	
回答	平成34年度に青戸大橋を渡った高浜町の既存施設の場所に、若狭町、小浜市、おおい町、高浜町の4市町で建設するという事で進んでいる。 若狭町と小浜市は距離があるので、中間集積のためのサテライト施設も検討中。 若狭町を除いた小浜市、おおい町、高浜町で新たな斎場をつくるという事で、努力している。	当日の回答どおり
質問	現在の斎場で犬猫の焼却といううわさもあるが。	
回答	犬猫の焼却炉は別である。	当日の回答どおり
質問	原子力災害対策施設のシェルター設置は4人が入れる施設なのか。	
回答	加斗小学校の体育館にシェルターをつくって、要支援者(自分で動けない人)をまずそこへ避難させる施設。体育館の中に設置するのに、4人で収納式のシェルターが作れるという事。	当日の回答どおり
質問	そのシェルターに何人入ることを想定しているのか。	
回答	収容人数は50人。	当日の回答どおり
質問	小浜雲浜地区、西津内外海地区は新たに作るのか。	
回答	小浜雲浜地区は市民体育館に、西津内外海地区は内外海小学校の体育館にという計画である。	当日の回答どおり
質問	国富はどこに出来るのか。	
回答	大飯発電所からの距離の順番です。要支援者の為の施設なので、健常者が入るという事では無い。一般的には屋内待機で指	当日の回答どおり

		示により県内或いは県外の避難先へ避難する。	
--	--	-----------------------	--

平成 30 年 6 月 9 日

小浜市議会議長 様

第 1 班 班長 垣本 正直

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成 30 年 5 月 25 日 (金) 19 : 30 ~ 21 : 00		
会 場 / 地 区	若狭ふれあいセンター (小浜公民館) / 小浜地区		
出 席 議 員	1 班 / 熊谷久恵、今井伸治、能登恵子、垣本正直、清水正信 (計 5 名)		
参加者 (市民)	4 1 名		
報 告 事 項	司会・班長：垣本、報告者 (前回報告会の質問に対する回答)：清水 (定例会報告)：今井、(北陸新幹線の取り組みについて)：熊谷 書記：熊谷		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	来年、美郷小学校が開校すると、4校が廃校になるため、アップライトピアノを1台旭座のほうに活用できないか。	【今後の対応】 行政に伝える (回答を求める)
	回答	閉校する4校について、要ると想定されるものを美郷小学校へ持ち寄り、残った備品については今までの学校に置き、教育委員会が管理する。ほかの学校で不足している備品もあり、4校の中で使わない備品については、有効な活用を教育委員会も考えていると思うが、教育委員会には要望を伝える。	
	質問	浜っ子子ども園のところの交差点で、郵便局のほうへ行く道の街路樹が道のほうに出ており、大型のトラックには当たる感じがする。バスもよく通るので、対策を立ててほしい。	行政に伝える (回答を求める)
	回答	県道なので要望があったことを伝える。	
	質問	夏になると旧小浜小学校跡が、草がすごく景観も非常に悪く、近所からも虫が飛んでくるなどのクレームがある。公園にするなどの予定はないのか。	行政に伝える (回答を求める)
	回答	跡地については発掘調査が進められており、調査結果に基づいて跡地計画を立てる。保存方法が明確になっていない間は市で除草や囲いをして、皆さんの生活の障害にならないように伝える。全体の整備計画や、後瀬山城址整備計画作成事業の予算が、前年度は19万6,000円、今年の当初予算は52万3,000円と32万7,000円アップしている。若狭武田館跡が史跡後瀬山城址に追加指定になったことから、史跡後瀬山地域保存活用計画策定委員会を開催して、館跡と城址の一体的な保存活用計画を策定する予定である。	
	質問	国の新幹線開業スケジュール計画は実質工事期間15年の想定だが、小浜市の想定は12年。そんなに短縮できるのか。 国の想定では2023年から2029年までの8年間のブ	

	<p>回答 ランクがあるが、工事を進めない理由は何なのか。</p> <p>今のままでは2030年の、北海道新幹線の札幌開業が全て終わった後にしか対応できず、それから15年間かかると、2045年になるのが当初の国の方向であるが、それでは国家的な損失になるので、北陸の沿線の自治体、また、福井県をはじめ小浜市や私たちも、北海道新幹線よりも早く、財源の見通しを立てて、敦賀以西から大阪までの全線開業を目指すよう要望している。</p>	<p>当日の回答どおり</p>
	<p>質問 生玉区にも空き家があり、今にも屋根瓦が落ちそうなところもある。町中を歩くと、そのような空き家が何軒か散見されるが、地震や何か事故が起こるとまずいと思い、一昨年から何回も市に伝えるも、調査しておくという回答ばかりで、いつまでも変化もない。議会からも市に要望を出してほしい。</p>	
	<p>回答 この件は各地区でも非常に問題が深刻で、近所迷惑になっており、市も各区の調査をして対応している。</p> <p>相続の問題や民法の壁が高く、危ないからといって簡単に解体できないということである。</p>	<p>行政に伝える (回答を求める)</p>
	<p>質問 持ち主がわからない家で、台風などで屋根瓦が飛んで被害があった場合は、被害を受けた人はどうすればいいのか。</p>	
	<p>回答 そういった予想がなされることであれば、市に一度相談していただきたい。</p>	<p>当日の回答どおり</p>
	<p>意見 危険な空き家のことだが、その委員会に出席している。</p> <p>どんなに危険でも、そこへ勝手に入るのは不法侵入になるためだが、消防署だけは火災の危険や人命にかかわることがあると入ることが可能。相談してほしいと署長が言っていたので報告させてもらう。</p>	
	<p>質問 固定資産税は徴収されるのか。持ち主がわからないことはない。土地と建物が別々の場合はあるかもしれないが、持ち主がわからない場合、固定資産税は徴収しないのか、できないのか。</p>	
	<p>回答 徴収不能になっていると思う。</p> <p>事例だが、父が死亡したときに、江戸時代から家や山の財産登記ができておらず、調べた上で長男は全財産、兄弟は財産放棄して登記をしたが、相続や登記ができていない家は結構ある。登記をしないまま過ぎると、親族が無限に増えて、どこに</p>	<p>当日の回答どおり</p>

		<p>住んでいるか不明になり、責任が誰にあるかを探し求めること自体が、市としては大きな負担でもある。皆さんにも登記をしていただくようお願いする。日本全国に700万平方キロ、九州の面積に匹敵する土地が相続人不明となっているのが現状である。</p> <p>質問 防災について、本日の福井新聞にヨウ素剤を置いている箇所の提示があったが、小浜地区は市民体育館と載っていた。各地区、区によって避難する場所が違うと思うが、私たちは中央公民館が避難場所になっている。災害の場合にヨウ素剤を、中央公民館のほうにも配布をするのか。それとも避難する方々が体育館に行くのか。避難場所が中央公民館であるが、中央公民館に避難した方には届けてもらえないのか。</p> <p>回答 事前配布は5キロ圏内で既に配布されているが、5キロ以上は配布されていない。3年経過し交換時期だが、交換がスムーズにいかないのが現実。5キロ圏内の事前配布は堅海と泊。それ以外は事態が起きたとき、避難時に受け渡される。</p> <p>その対応は臨機応変にすると思うが、混乱すると思う。対応がしっかりできるように伝える。議会にも来ていない話で、皆さんのご意見、不安をお伺いし、議会で問いただしていく。</p> <p>質問 後瀬山整備計画でユースホステル跡に星の広場があるが、行く動線がとても厳しい状態で、草木が鬱蒼として上がりにくい。その56万の予算の中で木を切るなど可能か。木が当たり、車が行けない状態である。</p> <p>回答 この予算は武田館跡をどうするかを専門家に頼んでつくってもらう計画の費用。小浜公園の上の展望台のところへ行くルート of 道路の樹木が生い茂って、車に当たるため非常に行きにくい状況になっているということだが、市の管理や対応への見解を議会からも求めて、ご返事させていただく。</p>	<p>行政に伝える (回答を求める)</p> <p>行政に伝える (回答を求める)</p>
--	--	---	---

平成 30 年 6 月 25 日

小浜市議会議長 様

第 1 班 班長 垣本 正直

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成 30 年 5 月 11 日 (金) 19 : 30 ~ 21 : 00		
会 場 / 地 区	雲浜公民館/雲浜地区		
出 席 議 員	2 班 / 竹本雅之、小澤長純、三木尚、風呂繁昭 (計 4 名)		
参加者(市民)	20 名		
報 告 事 項	司会・班長：小澤、報告者（前回報告会の質問に対する回答）：小澤 （定例会報告）：風呂、（北陸新幹線の取り組みについて）：竹本 書記：三木		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	新幹線に関して、地域の盛り上がりには期待するとはどういうことか。	【今後の対応】 当日の回答どおり
	回答	集会とか、決起集会に多くの方に参加していただくこと等。市は、役所内にプロジェクトチームを作り対応中。ルートの確定に相当な時間を要す。議会も各種団体との意見交換会で運動の浸透を図っている。今後のまちづくりの参考にさせていただくという考え。	
	意見	少子化の中で空き家がたくさん増えてきている、その対策と、新幹線開通を機会として小浜市が抱えているいろいろな課題を解決する必要がある。	当日の回答どおり
	回答	京都から 19 分、大阪から 38 分で来ることができる。来て、また住んでいただくことを考えて、空き地、空き家の利用も考えなければいけない。	
	質問	脱原発で自然エネルギーの方向に世界的は向かっている、小浜市が自然エネルギーに手を挙げてはどうか。	当日の回答どおり
	回答	そのとおり。平成 23 年に市議会も原子力発電所に関する意見書として、全会一致で可決している。市の調査では風が弱くてかなり厳しいとのこと。他に波力等、いろいろあるのでしっかり対応をしていきたい。ご意見としていただく。	
	質問	城内 2 丁目に住んでいる。台風時には堤防が決壊しないかと、心配している。南川の改修計画があるのか、ないのか。	行政に伝える (回答を求める)
	回答	川の浚渫はやっているが改修計画は聞いていない。	
	質問	浚渫程度で終われないから言っている。湯岡橋の上流と下流で川幅が半分の狭さになっている。決壊したら完全に人災である。南川の上流のダムの計画が、記録として何十年か前に陳情で出ていたが。	
	回答	名田庄村と合併したおおい町の条件整備としてのダムが進ん	当日の回答どおり

		<p>でいるので、今、それを言うのは現実的には厳しい。貴重なご意見をいただいたが、残念ながら、南川は何の計画もできてないのが現状。</p>	
質問		<p>生守地区にあれだけの家が建ってしまった今日、もし南川が決壊すれば大変な被害にみまわれるのではないか。</p>	
回答		<p>前回の台風時にも口名田小学校前も本当に危ないところまで来ていたので城内の人の気持ちはよく理解できる。浚渫に関しては、県土木のほうへ毎年お願いしているが、なかなかしてもらえないのが現状。抜本的な計画をしていく必要がある。行政に伝える。</p>	行政に伝える (回答を求める)
質問		<p>今回の大手橋、西津橋の改修で、一番町側へ20m、橋が延びる。全然川の幅は変わらずに、橋だけが長くなるというのは、理屈に合っていない。県の姿勢に対して、もっと市として、河川そのものを改修するという方向に持っていけないといけない。もし決壊したら人災だと言われていたが、そのとおりと思う。橋だけの改修ではだめで、河川改修を追加でやってくれるのかと県に聞いても、何も計画がない、という回答。何回言っても聞いてくれない。やはり議員が地域全部をひっくるめて県を動かし、国を動かし、やってもらいたい。橋だけが延長されて、川はそのままというそんな格好の悪いものでどうするのか。せめて河川改修の計画に取り組んでいただきたい。</p>	
回答		<p>とりあえず、行政は今どう考えているのかを確認させていただく。ご報告をさせていただく。</p>	行政に伝える (回答を求める)
質問		<p>漁港側に広げるのは100%できません。あちらに広げたら、千種、大手、一帯に水がつく。それは県も認めている。河口で、要は一番高い水位が2m10cm。ところが、漁港の岸壁が1m4、50センチですよ。南川の本流が2m10cmも上がるのに、漁港の岸壁がそのレベルです。ということは、向こうに流れたら、郵便局から、千種、あのあたり、今でも水がついて大変なところが、ますます水がつく。ぜひ、航空写真を見てほしい。どの写真でもわかる。市にもある。洪水の写真も何回も出している。導流堤から漁港のほうに80cmから1mぐらいの落差ができる。議員の皆さんは、南川がどんな形か認識不足。南川はどういう状態なのかを改めて見てもらおうと、どういう形になっているかというのがわかるので、もっと頭の中に入れていただきたい。</p>	
回答		<p>持ち帰って検討させていただく。</p>	行政に伝える (回答を求める)
質問		<p>ここはターミナルセンターがあるが、地区の催し物がある時、大雪の時、道路幅が狭くて大変。新幹線も大事だが、城内地区</p>	

	<p>の道路幅の拡幅をお願いしたい。大型の消防車も入れない。そういう状況なので、早く何とかしてほしい。</p> <p>学校・ターミナルがあり、雲浜地区の皆さんがここを使うので道路の狭さがこたえる。最低5mほどは欲しい。そうでないと2車線の道路ができない。</p> <p>その点につきましても、市のほうへ要望させていただく。</p> <p>右岸におきましては、この大手橋、西津橋のかけかえで、2.5mの拡幅が今期予算化されている。問題はいわゆるこちらの左岸のほう。先ほどの川の拡幅のことも今の道路のこともそうだが、川幅を変えないでどうやって道をつくるのか。そうでなければ、立ち退きを考えなくてはいけない。長期的には、拡幅の中で解決できるような話と思う。つまり、城内側の道を広くして、南川は漁港側のほうをさらに広げるような形に持っていけば、道も河川も広がってというトータル的な判断ができるのかと思ひながら、聞かせてもらっていた。</p>	行政に伝える (回答を求める)
質問	旭座ですが、年間、管理者にいくらで委託しているか。	
回答	1,500万。3年契約合計で4,500万。今、3年目です。指定管理受託者に運営をまかせている。	当日の回答どおり
質問	食堂関係が入っているが家賃を払っているのか。	
回答	払っている	当日の回答どおり
質問	この議会報告会、ここ何年かやっているが、夢のあるような政策や意見が議員から出ていない。もっと創意工夫した意見をこの報告会で出して欲しい。また、視察内容を具体的に議会だよりに出せば、市民も納得する。	
回答	<p>一般質問は議会だよりに出ています。その中には個人の議員の思いというのは出ている。貴重なご意見としてお聞かせいただく。</p> <p>この議会報告会の基本的な考え方は、各議員個人のいろんな意見を極力抑えて議会の主要な報告をさせていただくという主旨でやっている。ご理解をいただけるとありがたい。言いたいことがある議員もいるが個人の会合ではないので、この場でそれを言うわけにいかない。</p>	当日の回答どおり
質問	美郷小学校はバス通学は2キロか。	
回答	2キロである。	当日の回答どおり
質問	そうすると、内外海小学校が統合したときから行くと、半分になった。内外海は4キロ。同じ統合で公平性はどうなるのか。	

	回答	統廃合をさせてもらった関係でとしか言うしかない。 当然、その地区の話し合いの中で決められたことだと思う。	当日の回答どおり
--	----	---	----------

平成 30 年 6 月 28 日

小浜市議会議長 様

第 2 班 班長 小澤 長純

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成 30 年 5 月 23 日 (水) 19 : 30 ~ 21 : 00		
会 場 / 地 区	西津公民館/西津地区		
出 席 議 員	2 班 / 竹本雅之、小澤長純、三木尚、風呂繁昭 (計 4 名)		
参加者(市民)	20 名		
報 告 事 項	司会・班長：小澤、報告者（前回報告会の質問に対する回答）：小澤 （定例会報告）：風呂、（北陸新幹線の取り組みについて）：竹本 書記：三木		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	新幹線の件 小浜駅はどこにできるのか。その後のビジョンはあるか。駅を中心としたソフト面の位置づけ、農振地域の取り扱い、農地転用に十分な時間をとれるのか。	【今後の対応】 当日の回答どおり
	回答	駅は東小浜駅の近くと聞いている。整備の構想は北陸新幹線ですすでに完成した各駅を視察して議論している。また、市の若手職員を中心にワーキンググループを立ち上げている。 10年から20年という相当先の話なので若手を中心に自由な発想で考えてもらうという主旨。市の方もそれらも含めて基本構想を出してくる予定。	
	質問	早くても15年ほど先の話ですがJRの在来線（小浜線）はどうなるのか。また、駅からの交通手段はどうか。バスを走らせるのか。せっかくのお客さんを小浜に引き留めることができるのか。	当日の回答どおり
	回答	在来線（JR小浜線）の存続のことと思う。今までの県の見解では特急が走っていないところは廃止の対象ではないという考え。小浜線は特急が走っていないのでそのまま存続するという考え。あいあいバスの運行についても他の自治体の運営を参考にしていく。5年後に新幹線が敦賀まで来る。通過する自治体の福井市、鯖江市、越前市、敦賀市が特急を福井市まで継続して走らせてくれるように依頼し始めている。 今後、JRはこの問題にどう対応していくのか。福井県だけのエゴととらえられないか。見守っていく必要があると思う。 また、われわれは高浜町、おおい町、若狭町の中を通る駅であるということをしっかり認識して若狭の発展につながる新幹線の駅にしなければならない。それゆえに小浜線が少なくとも30分に1本通るような鉄道にしていけないと地元がまとまって運動することができなくなってしまうと思っている。 また、リゾートライン鉄道の運動で積み立ててきた資金もこれらの運動に使うべく戦略を練らないといけない。補足させ	

	<p>質問 回答</p> <p>ていただく。 一番の問題は財源問題と思う。目途は立っているのか。 立っていない。敦賀から京都まで総額2兆1千億円。現状は予算の付く事業になっていない。若狭ルートは昭和48年に田中内閣で閣議決定されたものの、その後は政治に翻弄されてきた状態。ルート問題でもめている内に九州、北海道に先を越されようやく小浜・京都ルートに決定したところ我々にできることは、敦賀で止まっていることがいかに現実的でないか、一刻もはやく京都、大阪までつないで日本の国が儲けられる路線にしないと大損であることを訴えていくことかと思う。</p>	<p>当日の回答どおり</p>
	<p>質問 回答</p> <p>大阪は北陸新幹線よりもリニア鉄道と万国博覧会の方に力を入れているという新聞記事を見たが状況はどうか。 確かにそういうところはあると思う。そもそも論だが北陸新幹線がこれほど遅れてきたのは大阪、(京都は通ることになっていなかった)があまりにも力を入れてこなかった、また関西経済連合会という財界も、全然力を入れてこなかった。若狭に原電をもつ関西電力も同様だが、その結果として東京1極集中に拍車をかけ大阪も単なる1地方都市になってしまった、ということをお大阪はいまだに把握も反省もできていない。関西の雄として各方面から大阪に入ってくるターミナル都市を目指すべきなのに全くそうしてこなかったといえると思う。</p>	<p>当日の回答どおり</p>
	<p>質問 回答</p> <p>小浜市の融雪装置の設置状況はどうなっているのか。現状で終わるのか、まだ可能性はあるのか。 融雪装置の計画は今のところない。今後、必要性があれば検討をしていくというところ。</p>	<p>当日の回答どおり</p>
	<p>質問 回答</p> <p>例えば、国道だけじゃなくて、県道、市道等に融雪装置をつくるというのも、できないか。 その辺は完全には把握ができていない。現状では計画はないということ。現在融雪装置を工事中なのが小浜の三丁町。あれは融雪装置というより、都市再生整備事業というまちづくり事業として進めており、その一環として、融雪装置の工事をやっている。それは、その地域を小浜市のメインの観光スポットという形で取り組んでいるため。現状の市の全般的な予算枠の中で、道路の融雪装置を今後広げていくというのは、厳しいのではないかと。</p>	<p>当日の回答どおり</p>
	<p>質問</p> <p>融雪装置の件だが、旧市内というか、小浜市内の中の県道の部分に関しては、全てもう融雪装置が入っている状況ではない</p>	

	<p>回答 質問</p>	<p>かと思う。駅前の県道とかは、ほとんど入っていると思う。ここは、国道なのでまた、原発がすぐ近くにあり、有事の際には、この国道で逃げなければならない。できれば、議会からでも応援してほしい。</p> <p>議会全体としまして、強く要望していきたい。</p> <p>実は2年前の大雪の時に市からの除雪車が入ってこれないという問題があった。業者に委託しているが、業者も回ってこないということがあった。原因は旧西津地区内は雪をはねる場所がない。3日ほど陸の孤島になっていた。最終的には、雪を捨てる場所がなく、公民館の交差点のところに、雪が歩道側に山積みされていた。道路幅が狭い、また密集しているということで、生活道路を保全するために、やはり融雪装置があれば、何らかの足しになるのではないか。子供たちが学校へ行くのに、非常に危ない状況であった。また西津地区への助成金等お願いしたい。</p>	<p>行政に伝える (回答を求める)</p>
	<p>回答</p>	<p>コミュニティからの申請も再度お願いしたい、また担当課には、すでにほかの補助金をお願いしている。</p>	<p>行政に伝える (回答を求める)</p>

平成 30 年 6 月 28 日

小浜市議会議長 様

第 2 班 班長 小澤 長純

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成 30 年 5 月 25 日 (金) 19 : 30 ~ 21 : 00		
会 場 / 地 区	宮川公民館/宮川地区		
出 席 議 員	2 班 / 竹本雅之、小澤長純、三木尚、風呂繁昭 (計 4 名)		
参加者(市民)	19 名		
報 告 事 項	司会・班長：小澤、報告者（前回報告会の質問に対する回答）：小澤 （定例会報告）：風呂、（北陸新幹線の取り組みについて）：竹本 書記：三木		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	舞鶴若狭道完成後、5 年が経過しているが、小浜市の経済効果は上がっているのか。市の予算に対してどのような効果があるか。新幹線も同じで今後の経済効果をしっかり把握していないと、完成後に逆にストロー現象で衰退していくということもあるのではないか。	【今後の対応】 当日の回答どおり
	回答	観光交流人口は 161 万人と増えている。まちの駅入場者も 20 万人を超えている。具体的な経済効果を示すデータは持ち合わせていない。しかし、綾部、福知山、三田等の企業団地が工場で埋まっていくのを見ると高速道路の持つ民間企業へのアピール力は大変強いと思う。舞鶴からようやく敦賀まで全線開業したので、すぐに結果に結び付かなくても今後南海トラフ地震等の対策でリスク分散という観点からも日本海側にも企業が進出してくる可能性は十分あると考える。長期的には経済効果は間違いなく上がってくるものと思う。	
	質問	市税収入が 40 億から 36 億と下がっている。道の駅までをあいあいバスのターミナルとした。しかし経費の増加等でマイナスの話を聞いている。宮川の人口も 777 人から 720 人と減少しており、市全体で高速道路の開通の経済効果が財政的にどのくらいあるのかを把握しておいてほしい。	当日の回答どおり
	回答	ご意見の通り。経済効果を上げるために長年にわたり取り組んできているので、経済効果につなげることが最も大事なことでであると再認識した。	
質問	敦賀の気比神宮は越前一の宮であり、同様に若狭姫、彦神社は若狭一の宮である。歴史上、敦賀と小浜はそんな色がないはずだが、現在の情勢は大きな差がついていると思う。若狭一の宮のある遠敷、小浜市は大変、淋しい状況と思うがどうか。宮川は加茂神社、小沢寺（おおそうじ、幼少時の杉田玄白の病		

	<p>気祈願で有名)もある。加茂神社の歴史は古く奈良の御所市、加茂族が発祥ときいている。加茂神社の近くに古墳があり、京都の上加茂神社、下加茂神社よりはるかに古いのは間違いない。</p> <p>宮川小学校も統合となり、宮川の歴史からいくと大変淋しい。故郷を愛する気持ちを大切に伝えていきたい。</p>	
回答	<p>その通り。京都よりもさらに古くから加茂、宮川地区ができていることは大変素晴らしい。古墳文化なので京都よりもはるかに古く、奈良の飛鳥朝に次ぐ歴史と思う。学校の統廃合とは別に素晴らしい文化を伝えていっていただきたい。</p>	当日の回答どおり
質問	<p>区長会の要望にも挙げているが工事をしないと野木川が氾濫する。議会からも災害対策に声を出してほしい。</p>	
回答	<p>議会も了承しているし、加茂神社にも山からの水がついたことも承知している。行政側に伝える。</p>	行政に伝える (回答を求めない)
質問	<p>一番町の雲城水を汲みに来る人の車が交通の邪魔をしている。郵便局、福井銀行にくる人の車と交錯して極めて危険であるので、駐車場を確保できないか。</p>	
回答	<p>行政側に伝える。</p>	行政に伝える (回答を求める)
質問	<p>第10消防団の部の再編により軽トラの配備がされたが従来持っていた消防ポンプの修理、維持は地元地区の負担になるのか。</p>	
回答	<p>行政側に伝える。</p>	行政に伝える (回答を求める)
質問	<p>幕末明治150周年で郷土の魅力発信事業325万円とあるがどのような内容か。子供たちが偉人を知ることによって地元に残るようにしてほしい。</p>	
回答	<p>郷土の偉人顕彰事業について説明する。1、企画展の開催 2、生誕地の修理、修景 3、杉田玄白の演劇公演、4、地域医療シンポジウム等の内容。</p>	当日の回答どおり
質問	<p>加茂地区に除雪車両が入ってこない、道幅が狭いということで来ないらしいが道幅の基準を聞かせてほしい。市道であるなら市の除雪路線に入れるべきである。</p>	
回答	<p>市道の除雪の現状をしっかりと把握できていないので行政側に伝える。そして報告する。</p>	行政に伝える (回答を求める)

	質問	小浜市の文化会館が老朽化している。若狭町のパレアが大変立派でありうらやましい。コンサートの規模としてあのくらいの規模の施設、小浜市にはできないのか。	
	回答	確かにそのとおりと思うが、若狭町は合併時の合併特例債という資金で建てている。理由にならないが、国からの補助金で大部分を賄う事業は持ち回りと考えてほしい。50年前に小浜市の文化会館が建った時は、おそらく他の自治体は小浜市を羨ましく思ったのではないかと思う。しかし、行政側に伝える。	行政に伝える (回答を求める)
	質問	小浜病院に何故、公費を投入しているのか。また経営状況はどうか。	
	回答	近隣自治体と運営費の一部を出し合うことで公立小浜病院を運営している。純粹に運営している民間病院と主旨が違う。救急救命センター等は利益を度外視して設置している。また、医師不足とともに、100億円を超える投資をして施設を新築したことで、借入金の返済も経営上の大きな負担となっている。	当日の回答どおり
	質問	小浜市の起債の状況はどうか。	
	回答	現在合計で174億円。毎年の16億から17億円返済している。返済のピークは平成34年度である。	当日の回答どおり

平成30年6月28日

小浜市議会議長 様

第2班 班長 小澤 長純

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年5月11日 (金) 19:30~21:00		
会場 / 地区	口名田公民館/口名田地区		
出席議員	3班 / 池尾正彦、西本清司、牧岡輝雄、藤田善平 (計4名)		
参加者(市民)	25名		
報告事項	司会・班長：池尾、報告者（前回報告会の質問に対する回答）：池尾、 （定例会報告）：西本、（北陸新幹線の取り組みについて）：牧岡、 書記：藤田善		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	金沢や長野ではなく、なぜ高岡市に視察に行かれたのか理由を聞きたい。	【今後の対応】 当日の回答どおり
	回答	どのようなまちづくりをしていくのか、市民の意見を聞きながら、また専門家の人たちとも意見交換しながらまちづくりの方向性を探っているところであり、財政基盤とか人口規模、立地の状況などを勘案して視察をした。	
	質問	食と農の人材育成事業の内容を聞く。	当日の回答どおり
	回答 意見	特にIターン者を募り活性化を図るための事業。 農業とか薬用作物振興に携わっている方の意見を聞いてあげてほしい。	
	質問	団体観光客誘致プロモーション事業の内容を聞く。	当日の回答どおり
	回答	近年は個人の観光がメインになってきており、団体のバス旅行などターゲットを絞って取り組んでいる。	
	質問	地域包括支援センターの休日、夜間の利用状況も含め市民の認知度がまだまだ低い。	行政に伝える (回答を求める)
	回答	利用状況のデータが今ありませんので、行政側に確認して回答する。	
	質問	除雪対策として、国道と県道を結ぶ口名田橋において担当業者が違うのか、両サイドが除雪されているにもかかわらずそこをつなぐメインルートの除雪対応が悪い。	行政に伝える (回答を求める)
	回答	去年は豪雪になり、除雪してもすぐ積雪があり業者も運転手の確保など苦労されたときいている。改善策を行政に伝える。	
質問	美郷小学校が来年開校するが、各学校の跡地計画はどうなっているか、また、中名田、口名田など他の学校の統合計		

	回答	<p>画はどうなっているのか。</p> <p>各地区の対策委員会でとりこんでいただいている。議会本会議一般質問の議員への答弁で、前教育長が、今後の統合について一度整理する必要があるという趣旨の発言をされており、現在検討されている段階であると思っている。</p>	当日の回答どおり
--	----	--	----------

平成30年6月28日

小浜市議会議長 様

第3班 班長 池尾 正彦

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年5月23日 (水) 19:30～21:00		
会場／地区	今富公民館/今富地区		
出席議員	3班／池尾正彦、西本清司、牧岡輝雄、藤田善平(計4名)		
参加者(市民)	34名		
報告事項	司会・班長：池尾、報告者(前回報告会の質問に対する回答)：池尾、(定例会報告)：西本、(北陸新幹線の取り組みについて)：牧岡、書記：藤田善		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	議員定数をどう考えておられるのか。	【今後の対応】 当日の回答どおり
	回答	平成27年4月の市議会議員選挙において無投票になったことを深刻に受け止めており、平成27年6月に議長から議会運営委員会に、平成24年12月に制定した小浜市議会基本条例の検証、見直しが諮問され、その中の検討項目の1つとして議員定数や議員報酬の検討が課題にあがっている。昨年実施し市議会だよりでも報告した市民へのアンケート調査結果や、有識者の意見など聞き、論点を整理して、本年12月をめどに結論を出すべく取り組んでいる。	
	質問	少子高齢化が進み市内人口がどんどん減っており空き家が増えてきている。空き家、老朽家屋に対するフォローを市はどのように取り組んでいるのか。	当日の回答どおり
	回答	小浜市では空き家対策条例を制定し、専門委員会で検討されている。特に危険で急を要する物件では行政代執行する場合もあるが、後日必ず地権者である持ち主に請求される。小浜市では空き家等除却支援事業も行っており、除却費用の一部補助も行っている。	
	質問	行政代執行される家屋などの管理責任者が県外におられる場合はどうするのか。	当日の回答どおり
	回答	電話、郵便など様々な方法を取り最終的に市で協議する。	
	質問	JR小浜線は第三セクターになるのか。また、料金の詳細が分からない。	当日の回答どおり
	回答	JR小浜線は特急列車が運行されていないので並行在来線にならず、第三セクター鉄道にはならないと考えている。資料でお渡しした利用料金はあくまでも県の試算であり今後正式に決定される。	

	質問	<p>地域では高齢者ばかりになり、子供も少なく後継者もなく地域の歴史、文化も守れなくなっている。中小企業においては求人をして人も集まらない。都会に出る若者も多く、相続する人もいなくて空き家が増えていく。このような現状を踏まえて小浜市のまちづくりをどう考えているのか聞く。</p>	
	回答	<p>企業誘致にしても、議会も行政と一体になって努力しているがすぐに結論が出てこない。空き家対策においても市の職員は個人情報も考えたうえで大変な労力をはらって取り組んでいる。</p>	当日の回答どおり

平成30年6月28日

小浜市議会議長 様

第3班 班長 池尾 正彦

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年5月25日（金） 19：30～21：00		
会場／地区	中名田公民館/中名田地区		
出席議員	3班／ 池尾正彦、西本清司、牧岡輝雄、藤田善平（計4名）		
参加者（市民）	16名		
報告事項	司会・班長：池尾、報告者（前回報告会の質問に対する回答）：池尾、 （定例会報告）：西本、（北陸新幹線の取り組みについて）：牧岡、 書記：藤田善		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	企業誘致を進めるためにはまず、市の受け入れ態勢として人材教育、医療機関の充実、交通の便の充実、があげられる。教育においては県下トップクラスであるし、交通の便においては舞鶴若狭自動車が開通するなど改善されてきている。医療に関しては小浜病院に対して、市も多額の補填をしているが、市民においてはまだまだ福井のほうへ通院される方が多いと思われるが、小浜病院での診療体制をお聞きする。	【今後の対応】 当日の回答どおり
	回答	救急医療体制が取れる病院が地元にあるのはたいへん心強い。市民一丸となって小浜病院を盛り上げていくよう強く訴えていく。	
	質問	新幹線の駅は東小浜駅周辺にできると思っている。旧市内のまちづくりも必要だが、現在の状態を見ると発展の要素が見られない。小浜警察署もできる上中小浜縦貫線沿いの開発以外に小浜市の発展はないと思う。昔のしきたりとかにこだわらず、早くまちづくりに取り組むべきではないか。	当日の回答どおり
	回答	小浜市若手職員によるワーキンググループも活動しており、平成29年度の取り組みとして、①定住を促進するため移住して頂く、②食のまちとして観光交流の拡大、③京都から近い地の利を生かし、通勤定住など考えられ、企業誘致や雇用環境の改善などを分析したり資料収集などを行っている。平成30年度においてはコンサルタントにも委託し、小浜市の現状と将来を見通した課題、新幹線開業後の影響や効果の分析などを行い実際の数値をつかんでいく。また、引き続き各種団体の皆様など市民の皆様のご意見を踏まえてまちづくりを考えていく。尚5月23日に東京で建設促進大会があり、京都の知事も関西新幹線という	

		<p>気概をもって早期全線整備に向け全力を尽くすと発言されるなど、非常に活発な議論がなされ、財源の確保は確定していないが、詳細調査や環境アセスが終われば引き続きやっていると認識を示したと報道された。小浜市議会も敦賀開業以降引き続き工事を継続して頂くよう要望を続けていく。</p> <p>また、駅通商店街、旧市内のまちづくりは非常に難しい課題であり、高齢化が進み、空き家も増えてきており今後のまちづくり協議会の取り組みが重要だと思っている。</p> <p>小浜市民の京都、大阪への通勤も考えられるが、京都、大阪の人に小浜に住んでもらうか、通勤してもらう施策も必要。小浜は文化財、観光、食とか素晴らしいものを持っており、嶺南の市、町も単独の観光で終わることのないようお互い切磋琢磨して連携して取り組んでいただきたい。新幹線が通っても通過点になりはしないかと危惧される市民もおられるが。</p>	
質問			
回答		嶺南 6 市町の広域行政組合の中で真剣に考えている。駅の構造や駅周辺をどのような街にするかについては市町の財源が必要でもあり、周辺市町とも検討する必要があると思っている。市内各種団体とも意見交換会を持っており、市民の意見などお聞きしながら議会としての考え方を市に提言したい。	当日の回答どおり
質問		奈良のお水取りに比べて小浜のお水送り神事の認知度が低いと思う。全国ニュースでも見たことがなく、両行事をセットで覚えていただく工夫が必要ではないか。	
回答		市長以下、観光行政も小浜市の大きな目玉行事として取り組み、毎年多くの観光客が来られている。人口減少が進み、伝統行事を守っていく難しさを感じているが、受け入れ態勢など地元の皆さんに大変お世話になっている。まだまだ強力なPRが必要と市に伝える。	行政に伝える (回答は求めない)
質問		議会の活性化について聞く。7, 8 年前に土日議会開催、夜間議会開催、会社に籍を置いたまま議員になれないかなど提言したことがある。無投票になったのは議会に魅力がないからではないのか。議員定数の適正数はどのくらいだと考えるか。	
回答		平成 27 年 4 月の市議会議員選挙が無投票になる中で、6 月、議長から議会運営委員会に対し、議員定数や報酬などについて諮問がなされ現在 20 項目にわたり検討中であり 12 月ぐらいには報告できると考えている。	当日の回答どおり

平成30年6月28日 小浜市議会議長 様

第3班 班長 池尾 正彦

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年5月11日 (金) 19:30 ~ 21:00		
会場 / 地区	松永公民館/松永地区		
出席議員	4班 / 藤田 靖人、佐久間 博、下中 雅之、富永 芳夫 (計4名)		
参加者(市民)	20名		
報告事項	司会・班長：下中、報告者（前回報告会の質問に対する回答）：富永 （定例会報告）：佐久間、（北陸新幹線の取り組みについて）：藤田靖 書記：富永		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	小浜病院というのは一体赤字か、黒字か	【今後の対応】 病院に伝える (回答を求める 「経営状況」)
	回答	自治体病院の約7割が赤字経営となっている。小浜病院も赤字分野の救急医療があることなどで経営的に厳しく赤字。病院議会としてもしっかりとチェックをし、地域になくてはならない病院となるよう努力する。	
	質問	小浜市の税の滞納に対する取り組みはどうか	行政に伝える (回答を求める 「滞納率等について」)
	回答	滞納の部分は以前に比べ少なくなっている。県の滞納整理機構と連携し、滞納を少なくするように現在やっている。また、市の職員も、勤務が終了後徴収に家に伺ったり、全庁を挙げ対応している。	
	質問	市の方をお願いをすると、お金がない、予算がないと、二言目に返ってくるが	当日の回答どおり
	回答	皆様の希望に添えると良いが、小浜市の財政状況は決して潤沢ではないことを理解して頂きたい。	
	質問	北陸新幹線の敦賀開業を活用したまちづくりを考えているか	当日の回答どおり
回答1	敦賀まで来られた方を若狭地域に来て頂くために、小浜駅のトイレもきれいになり、また小浜駅周辺のリニューアルなど、今、いろいろ議論をしている。		
回答2	小浜上中縦貫線の早期整備に努めて、小浜市街地に人が入って来るようにしているのも敦賀開業に向けた計画の一つである。	当日の回答どおり	
回答3	嶺南6市町で2次交通の充実、また各駅の周辺の整備などもしっかり取り組んでいき、敦賀開業を嶺南全体で最大化していくために必要な事業はしっかりやっつけていかなければならない。	当日の回答どおり	

質問	小浜線の増強工事について、県予算がついたというのは本当か	
回答	把握していないため、後ほど公民館を通して報告する。	行政に伝える (回答を求める)
質問	松永、宮川、国富、遠敷の小学校が統合されるが、地区内に小学校がなくなり、小学校がある地区との市民のコミュニティに差が出て来るのではないかと思うが、何か議会では話が出ているか。	
回答	近く、産業教育常任委員会で、統合されて2年間が経った学校が兵庫県にあり、委員会として視察に行くことになっている。コミュニティの今の状態や、また例えば旧校舎の跡利用などを、現場へ行って勉強してきたいと考えている。	当日の回答どおり
質問	最近、高齢者の交通事故が多くなっており、今後、免許証を返納するという方が増えてくると思う。村部の者は免許証がないと致命傷になるが、それに対する小浜市の取り組みとして、デマンドタクシー制度を考えられているか	
回答	日常の足として、今言っていたご提案に関しましても、私たちも十分に反映していきたいと思う。	行政に伝える (回答を求める)

平成30年6月28日

小浜市議会議長 様

第4班 班長 下中雅之

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年5月23日 (金) 19:30 ~ 21:00		
会場 / 地区	加斗公民館/加斗地区		
出席議員	4班/藤田 靖人、佐久間 博、下中 雅之、富永 芳夫 (計4名)		
参加者(市民)	20名		
報告事項	司会・班長：下中、報告者（前回報告会の質問に対する回答）：富永 （定例会報告）：佐久間、（北陸新幹線の取り組みについて）：藤田靖 書記：富永		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	リゾート新線の建設費のため、市町で拠出していた積立金があったと思うが、その件について教えて頂きたい。	【今後の対応】 当日の回答どおり
	回答	県には50億、6市町で30億、計約81億の基金がある。県が積み立ててくれたお金を、嶺南6市町の整備に使いたいと嶺南広域行政組合から県に要望をしている。	
	質問	小浜病院の評判が悪いが、より良い安心出来る病院にして欲しい。	当日の回答どおり
	回答	優秀な先生もいらっしゃるので、やはり病院は地域が育てるというような部分もあるかと思う。温かい目で小浜病院を見ていただきたい。	
	質問	北陸新幹線ですが、小浜市や市議会の努力で小浜・京都ルートとなったと思うが、県とか嶺北は冷めた目のように見える。もっと動いてもらわないといけないと感じるがどうか。	当日の回答どおり
	回答1	西川知事は各県知事の中で先頭に立って頑張っておっしゃっている。皆様には動きとしてなかなか見えない部分があるのかもしれない。私たちも今のような声を聞いた時は、市や県の取り組みをしっかりとご報告をしてみたい。	
	回答2	西川知事は私たちが要望活動でお会いした時は、前向きでいるんなところをみておられるという感じである。テレビに出てくる雰囲気とは違う。安心をして頂きたい。	
	質問	工業団地の進捗についてお尋ねする。	行政に伝える (回答は求めない)
	回答	議会としても、何も聞いていないので報告できない。	
	質問	火葬場の件についてお尋ねする。	行政に伝える
回答	場所等は決まっていない。		

	質問	地域みんなが使う施設についての、バリアフリーとかを進める取り組みがされるといいなと思う。また、加斗地区には放課後児童クラブがないが、この件についてお尋ねする。更に今年度初めて、加斗小学校始まって以来、複式学級ができた。複式学級ができると、学校の先生の数が減る。他の市町に行くと、複式介助の先生を雇うというところもあるが、小浜市はその辺はどういうふうにするつもりか。	(回答は求めない)
	回答	行政に伝えて、公民館を通してご報告する。	行政に伝える (回答を求める)

平成 30 年 6 月 28 日

小浜市議会議長 様

第 4 班 班長 下 中 雅 之

小浜市議会 議会報告会 実施報告書

日 時	平成30年5月25日 (金) 19:30 ~ 21:00		
会場 / 地区	遠敷公民館/遠敷地区		
出席議員	4班 / 藤田 靖人、佐久間 博、富永 芳夫 (計3名)		
参加者(市民)	27名		
報告事項	司会・班長：富永、報告者（前回報告会の質問に対する回答）：富永（定例会報告）：佐久間、（北陸新幹線の取り組みについて）：藤田靖 書記：富永		
報告会における市民からの意見・要望内容	質問	美郷小学校開校に踏切の拡幅は間に合わないというような感じの報告を今聞いたが、学校が出来るというのに、拡幅もできない。このような状態をどう思うか。	【今後の対応】 行政へ伝える (回答は求めない)
	回答	これはJRの事業であり、小浜市としては金沢支社へ何度も要望し、しっかり取り組んでいることだけは、この場でお伝えさせていただきたい。今後もできるだけ早く進捗するように対応すべく、私たちから所管のほうに伝えさせていただく。	
	意見	踏切の拡幅は、当面は困難でも降雪時踏切のすれ違いも出来ないので、除雪だけは万全にしてもらいたい。	行政に伝える (回答は求めない)
	質問	新幹線の話では、市民から多くの期待もあるが、正直、現実問題として、人口はどんどん若い者がいなくなっていき、そこへもってきて子供たちがいなくなり、減って行くような状態がずっと続いていく。早く開通してほしいと思いながらも、まだ20年もっと先になることを考えると、我々の目の黒いうちに新幹線をつくってほしいが、期待ができるかどうかということを考えてほしい。	当日の回答どおり
	回答	市議会も市・経財団体と一致団結しながら14・15年を目途にして頑張っているのご理解をいただきたい。	
	質問	小学校の4地区統合があったが、保育園なんかも4地区統合ができないか	行政に伝える。 (回答を求める)
	回答	保育園の統合民営化については、平成32年ぐらいから動き出すようなことを少し聞いたことがあるが、間違っているかもしれない。その場合は訂正させていただく。	
	意見	魅力ある小浜市にするために、各地区でいろいろな町おこしだとか、いろいろなことをやっている。遠敷でもいろいろなまちづくりをやっている。その市民の方がいろいろなことをや	

		って、底上げしていくので議会として協力をお願いしたい。	
質問		日本遺産の鯖街道に関する、小浜市や小浜市議会の取り組みを聞かせてほしい。	
回答		サバ養殖、鯖街道ウォーキング等、小浜市と若狭町が連携し取り組んでいる。	当日の回答どおり
質問		今、学校の先生の労働時間が非常に長くなっており、先生方の負担を軽くすることについても頑張ってもらってほしい。部活を持っている先生の数が非常に激しい。今、各学校での部活については週に3日は休むとかいろいろ工夫されている。それを学校に聞くと、やっぱり部活で子供たちの帰宅が5時半、6時半、大会前だと6時半までになるとのこと。生徒を帰した後に、先生方が明日の授業のための自分たちの勉強をするなどの状況が続いている。先生方自身に意識改革もしてもらわなければならないと思うが、学校長であったり、教育委員会がもっとしっかり指導しなければならないと思う。	
回答		今年度から、浜中、二中に1名ずつだが、部活動の担当の先生を配置するという事業が開始された。教職員の方が部活動も持って、土日もなく携わっておられるというその負担を軽減する事業。	当日の回答どおり
意見		鯖街道、鯖街道言うけれども、現実問題、あそこを歩いたことはあるか。鯖街道というのは歩く道だが、やっぱりそういう昔の人たちが苦勞して歩いた道を体験して、それによってこの文化が栄えた大事さを知ってもらいたいと思う。	

平成30年6月28日

小浜市議会議長 様

第4班 班長 下中雅之